

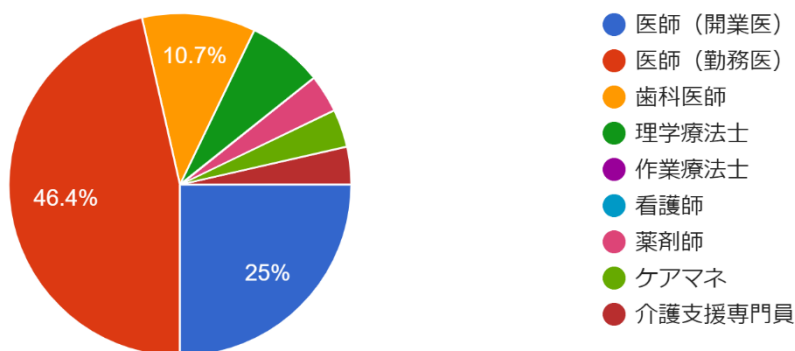
多職種向け慢性痛診療連携セミナー 「インターベンショナル治療が有効な腰痛を知らう」 アンケート集計結果

2022年10月2日（日） 15:00～17:20（ハイブリッド開催）

参加者数 計 62 名（オンライン 55 名 現地参加 3 名 登壇者 4 名）

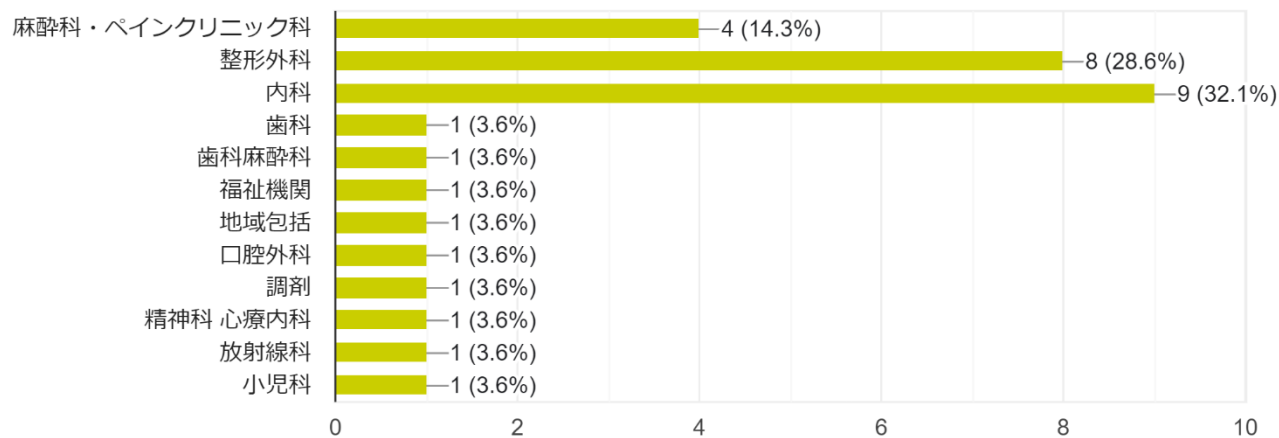
①あなたのご職業を教えてください。

28 件の回答



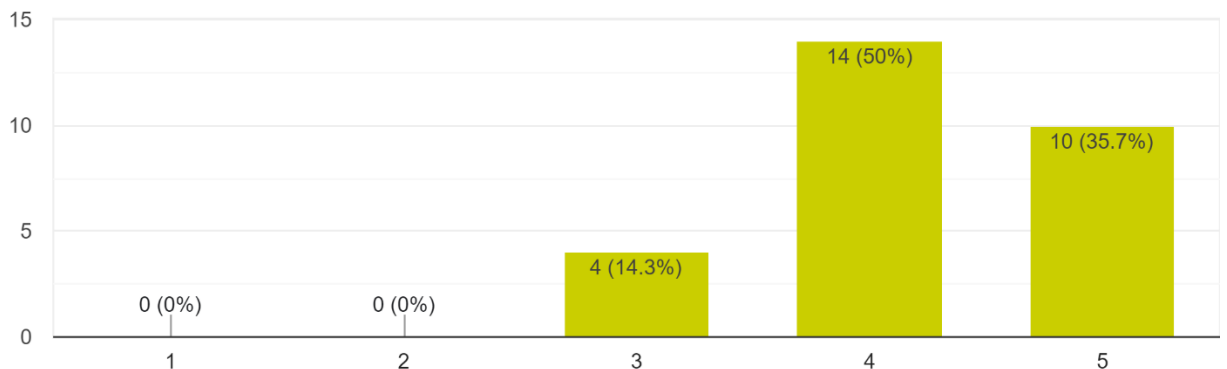
②主な診療科を教えてください。

28 件の回答



③今回のセミナーの感想を教えてください。

28件の回答



まったくよくなかった

とてもよかった

④今回のモデル事業セミナーの良かった点を挙げてください。

- ・ 治療法の総括がまとまっていた
- ・ 症例提示
- ・ ペインクリニックの現況がよくわかった。
- ・ ペインク CL の Dr の意見を伺えたこと
- ・ 症例提示もあり、理解しやすかった。
- ・ 症状に対して診断すること
- ・ 具体的な症例の提示により、私が不勉強の治療法について勉強になりました。
- ・ ペインの先生の治療について知れた
- ・ テーマが明確だった
- ・ ペインクリニックの役割を理解できたのが良かった
- ・ ペインクリニックがどんなことをしているかを開業医の先生方に知って頂けたと思います。
- ・ 専門外の方にも広く門戸を開いて聴講を可能にいただき、とても良かったです。
- ・ 慢性疼痛に対する治療についての知識が得られた。
- ・ 具体的インターベンションの進歩の映像
- ・ 総論的にペインクリニックを紹介してわかりやすかった。

⑤慢性の痛み治療におけるインターベンショナル痛み治療の課題・問題についてご意見があればお願いいたします。

- ・中枢でブロックすれば痛みが取れる場合、その末梢のどこが発痛部位かの探索が必要なのでは。その末梢でのファシアリリースで済むこともある。
- ・技術を磨く必要を痛感しました。
- ・専門医につなげる方法。近隣におられる医師から医大等の専門医への紹介をしてもらうことにハードルを感じる。かかりつけ医と専門医との連携について患者への周知方法。
- ・やはり診断が大切だと思います。それによってインターベンショナル治療が有効か考えられると思います。
- ・成功とリスク、且つ今後、成功率の向上が、どこまで向上するか、予測を、出来れば！
- ・まだまだ知られていない。

⑥今後どのような企画を希望されますか。

- ・症例提示が大変勉強になるので、またお話を伺えたら大変ありがたいです。
- ・慢性痛における漢方薬の利用。古典的三環系抗うつ薬であるトリプタノールの有用性について。
- ・今のままで、お願いします。
- ・高齢者の慢性疼痛患者に対する多職種連携。
- ・いつもは接することのできない内容のお話なら、勉強になると思えますので、どんな事でもOKでございます。
- ・今回と同じような企画には是非毎回参加したいです。

⑦本セミナーをどこでお知りになりましたか？__

28件の回答

